

事業報告書

第十四期

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日



岩国空港ビル株式会社

事業報告

1. 株式会社の現状に関する事項

(1) 事業の経過

岩国錦帯橋空港は、平成 24 年 12 月、東京路線 1 日 4 往復の運航で開港し、現在は東京路線 5 往復・沖縄路線 1 往復の計 1 日 6 往復が就航するに至っております。開港 7 年目の平成 30 年度には年間約 52 万人の搭乗者と過去最高を記録しました。

翌年の令和元年度末からの新型コロナウイルス感染拡大により就航便の欠航、移動制限などによる利用者の減少が続きましたが、令和 5 年度は 4 年ぶりに減便のない年となりました。搭乗旅客数において上期はコロナ禍前の令和元年同期の水準には至っておりませんが、下期には令和元年を上回る結果となり、令和 5 年度の搭乗者数は 47 万 4 千人(令和 4 年度 36 万 3 千人)、搭乗率は 64.9%(同 52.3%)で、搭乗旅客者数は令和元年度比において 98%まで回復した状況にあります。

令和 6 年 1 月に発生した羽田空港地上衝突事故は岩国錦帯橋空港の就航便にも影響しました。夜間の滞留者などは発生しなかったものの、空港の役割の重要性、安全の確保について改めて認識する大きな出来事でした。

令和 5 年度は錦帯橋創建 350 年を迎えた年であり、各種関係官庁、自治体、協議会などとも協力して記念事業等に取り組んだことにより、空港の利用促進に貢献できたものと考えます。

(2) 事業の成果

令和 5 年度の事業計画においては、搭乗率を令和 4 年度の実績 52.3%から、感染拡大前の約 70%には至らないと予想して 60%程度になると見込む中で、実績が 64.9%となり、搭乗者数に応じた歩合制収入が損益計画より向上し、当期の全売上高は 310,132 千円(対計画+10,132 千円 対前年+34,308 千円)の増収を達成することができました。

営業費用については昨年度に引き続き空調デマンド監視による節電を中心に経費抑制を図りました。損益計画策定時は当時作成された岩国空港ターミナルビル中長期修繕計画に沿った施設設備に係る費用を計上していましたが、機器の更新時期の見直し等により、当初計画していた施設の修繕や機器の更新のいくつかを次年度以降に計画変更を行ったこと、また、当初高騰が続くと見込まれた電気料金の値下げなどにより、288,523 千円(対計画▲23,477 千円 対前年+1,820 千円)に抑えられました。

その結果、営業損益は 21,608 千円(対計画+33,608 千円 対前年+32,488 千円)となりました。特別利益として県より駐車場運営維持費 30,000 千

円が交付され、税引前当期純利益は 53,530 千円(対計画+35,530 千円 対前年+30,722 千円)となり、法人税等については 19,045 千円(対前年+11,996 千円)、当期純利益は 34,484 千円(対計画+24,484 千円 対前年+18,725 千円)となりました。

(3) 当社が対処すべき課題

これまで、空港利用者へのニーズに応えるべく、補助金等を活用しながら駐車場や空港ターミナルビルの機能の充実に努めて参りました。

令和 5 年度は各施設が竣工後 10 年を超えたため、前年度に引き続き施設設備の経年対策としての中長期的な修繕計画に基づく改修や工事を進めているところです。

こうした状況を踏まえ今後におきましても、施設設備維持管理費用を補える収支バランスの確保を行うとともに、空港災害計画、空港脱炭素推進化計画について取り組む必要があります。

2. 設備投資等の状況

該当事項はありません。

3. 財産および損益の状況の推移

区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	第十二期	第十三期	第十四期
売上高	219,375 千円	275,823 千円	310,132 千円
経常利益	△36,816 千円	△7,192 千円	23,530 千円
当期純利益	△8,777 千円	15,759 千円	34,484 千円
1 株当たり当期純利益	△860 円 53 銭	1,545 円 2 銭	3,380 円 88 銭
総資産	1,320,021 千円	1,221,874 千円	1,159,986 千円
純資産	732,508 千円	748,268 千円	782,753 千円
1 株当たり純資産	71,814 円 60 銭	73,359 円 62 銭	76,740 円 50 銭

4. 重要な親会社及び子会社の状況

該当事項はありません。

5. 主要な事業内容

- ① 航空旅客及び航空貨物ターミナルビルの貸室業
- ② 航空機燃料保管施設提供業
- ③ 有料駐車場業
- ④ 広告宣伝業 見学施設提供業
- ⑤ その他定款に定めた事業

6. 主要な営業所及び従業員の状況

① 主要な営業所

本社 山口県岩国市旭町3丁目15番1号

区分	営業面積:国有地借用面積	備考
航空旅客及び貨物ターミナルビル	9,486.74 m ²	
航空機燃料貯蔵施設	2,702.47 m ²	100Kℓ・50Kℓタンク各1基
駐車場	16,724.91 m ²	850台収容
計	28,914.12 m ²	

② 空港利用状況

乗入航空会社 全日本空輸株式会社

③ 路線及び便数

岩国～東京線 5往復 10便

岩国～沖縄線 1往復 2便

④ 入居者

(航空旅客及び航空貨物ターミナルビル)

航空会社 1社

旅客サービス会社 1社

清掃管理会社 1社

売店 1社

飲食店 1社

レンタカー会社 4社

警備(航空保安検査)会社 1社

空港警備派出所 1機関

(航空機燃料保管施設)

施設管理及び給油会社 1社

⑤ 従業員の状況(令和6年3月31日現在)

男子	女子	計	平均年齢	平均勤続年数
1名	1名	2名	42歳	8.7年

※上記の他、嘱託社員1名在籍

7. 主要な借入先及び借入額

借入先	期末借入金残高
岩国市	322,260 千円

8. 会社の株式に関する事項

- (1) 資本の額 480,000 千円
 (2) 発行可能株式総数 4,000 株
 (3) 発行済株式の総数 10,200 株
 (4) 事業年度末の株主数 23 名
 (5) 主な株主

主な株主	株数	持株比率
山口県	4,000 株	39.22%
岩国市	1,200 株	11.76%
ANA ホールディングス株式会社	600 株	5.88%
株式会社カシワバラ・コーポレーション	600 株	5.88%
和木町	400 株	3.92%
中国電力株式会社	400 株	3.92%
サンデン交通株式会社	400 株	3.92%

9. 会社役員に関する事項

取締役および監査役の氏名等(令和6年3月31日現在)

地位	氏名	他の法人等の状況
取締役会長	柏原 伸二	(株)カシワバラ・コーポレーション 取締役会長
代表取締役社長	繁永 俊之	
常務取締役	藤本 裕司	
取締役	福田 良彦	岩国市長
取締役	米本 正明	和木町長
取締役	竹重 秀敏	サンデン交通(株) 代表取締役社長
監査役	村上 慎	(株)山口銀行 執行役員 岩国支店長
監査役	平岡 英雄	(株)西京銀行 代表取締役会長